

# 日本・セルビア友好議員連盟総会 議事次第

日時：令和4年4月5日（火）10：30～  
場所：衆議院第2議員会館 B1F 第3会議室

一、開会（進行） 城内 実 日本・セルビア友好議員連盟 事務局長

一、挨拶  
逢沢 一郎 日本・セルビア友好議員連盟 会長  
米田 建三 日本・セルビア協会 顧問  
長井 忠 日本・セルビア協会 会長  
上山 直英 在大阪セルビア共和国名誉総領事館 名誉総領事

一、議題

- 1) アレクサンドラ・コヴァチュ駐日セルビア共和国大使より  
ご挨拶
- 2) 日・セルビア二国間関係、欧州情勢等について  
説明者：北川克郎（外務省欧州局参事官・西バルカン大使）
- 3) セルビア共和国へ進出の日本企業よりご挨拶
- 4) 柳澤寿男（バルカン室内管弦楽団 音楽監督・指揮）様よりご挨拶

一、質疑・意見交換

一、閉会

アレクサンドラ・コヴァチュ駐日大使

H.E. Ms. Aleksandra KOVAČ

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of Serbia to  
Japan

イバナ・ゴルボビッチ＝ドゥボカ在京大使館 公使参事官

Ms. Ivana Golubović Duboka

Minister-Counselor of the Embassy of the Republic of Serbia

富永正明 通訳

Mr. Masaaki Tominaga

Interpreter

逢沢一郎 日本・セルビア友好議員連盟 会長

Mr. Ichiro Aisawa

President of Parliamentary Group for the Friendship between Japan and Serbia

城内実 日本・セルビア友好議員連盟 事務局長

Mr. Minoru Kiuchi

Secretary General of the Parliamentary Group

米田建三 日本セルビア協会 顧問

Mr. Kenzo Yoneda

Advisor of the Japan Serbia Society

長井忠 日本セルビア協会 会長

Mr. Tadashi Nagai

President of the Japan Serbia Society

上山直英 在大阪セルビア共和国名誉総領事館 名誉総領事

Mr. Naohide Ueyama

Honorary Consul General

Honorary Consulate General of the Republic of Serbia in Osaka

柳澤寿男 バルカン室内管弦楽団 音楽監督・指揮

Mr. Toshio Yanagisawa

Music director, Conductor Balkan Chamber Orchestra

北川克郎 外務省欧州局参事官 (西バルカン大使)  
Mr. Katsuro Kitagawa  
Deputy Director-General, European Affairs Bureau  
(Ambassador in charge of the Western Balkans)

宮崎祐次 TOYO TIRE 株式会社 執行役員 生産統括部門管掌  
Mr. Yuji Miyazaki  
Corporate Officer Vice President, Production Headquarters  
Toyo Tire Corporation

岡村真 伊藤忠商事株式会社 開発・調査部調査・情報室エリアマネージャー  
Mr. Makoto Okamura  
Area Manager, Public Relations Department, Research & Business  
Development Division, ITOCHU Corporation

高柳一彦 矢崎総業株式会社 コーポレートガバナンス・法務室渉外部長  
Mr. Kazuhiko Takayanagi  
Manager Government & Industries Relations Department, Corporate  
Governance and Legal Affairs Division Yazaki Corporation

平迫靖規 株式会社前川製作所 事業推進室・企画担当 審議役  
Mr. Yasunori Hirasako  
Senior Advisor, Planning Section, Corporate Development Department,  
MAYEKAWA MFG. CO., LTD.

隈元隆宏 日本たばこ産業株式会社 渉外企画室 国際担当部長  
Mr. Takahiro Kumamoto  
Head of International Affairs, Corporate Affairs & Communications  
JAPAN TOBACCO INC.

西林均 関西ペイント株式会社 取締役常務執行役員・国際事業部門長  
Mr. Hitoshi Nishibayashi  
Director of the Board, Managing Executive Officer, Head of International  
Business Unit of Kansai Paint Co., Ltd.



# セルビア

～西バルカン地域安定の鍵を握る地域の中心国～

2022年4月  
欧州局中・東欧課



## セルビアの特色

### ①良好な対日感情

- 民主化以降に日本が実施したODAに深く感謝。  
※約20%の市民が、2000年以降、日本が最大の支援国と認識している。
- 東日本大震災時、多額の義援金が日本に寄せられた。2018年7月の豪雨被害に際してもセルビア政府は義援金を拠出。

### ②投資先としての注目度の高まり

- 近年外国投資を積極的に受け入れ。日本企業の進出も進展。
- 質が高く、安価な労働力を有し、投資先としての潜在性あり。
- EUに加え、トルコ、ロシア等とFTAを締結しており、国外の大規模市場へのアクセスが容易。

### ③対外関係(EU加盟努力, コソボ, バランス外交)

- 2014年にEU加盟交渉を開始し、EU加盟を最優先外交課題としている。
- コソボの独立を認めない方針を維持しつつも、EU加盟の条件であるコソボとの関係正常化に向け、EU支援の下、セルビア・コソボ間対話を実施。2020年にはセルビア・コソボ間で「経済関係正常化」の合意締結。
- EU・米・露・中を外交の4つの柱とするバランス外交を展開。

人口: 696万人(19年)

面積: 約7.7万km<sup>2</sup>(北海道とほぼ同じ)

GDP: 51.4億ドル(一人当たり7,402ドル)(19年)

成長率: 4.2%(19年), 物価上昇率: +2.0%(18年)

失業率: 10.4%(19年)

政体: 共和制

議会: 一院制(250名), 任期4年

在留邦人数: 179人(2019年), 進出企業数: 24社(2019年)



#### 日本の黄色いバス

日本の無償資金協力により、2003年にベオグラード市に93台の黄色いバスを供与。現在も市民の足として活躍中。市民に身近な支援として親しまれている。



#### 東日本大震災時の支援

セルビアからは多額の義援金(約293万ドル以上)が送られた。当時の在京大使は、震災後、日本国民への連帯を示すために退避せず東京に留まった。また、震災後、欧州で最も早く(2011年7月)我が国の農産物への輸入規制を撤廃。



#### ストイコビッチ元監督

サッカーのJリーグの名古屋グランパスで7年間プレー。ピクシー(妖精)の愛称で親しまれた。2008年に名古屋グランパスの監督に就任し、2010年Jリーグ優勝。2015年には、旭日小綬章を受章。

## 最近のセルビア情勢

政治

ブチッチ大統領の一強状態。EU加盟を目指し国内改革を推進中。

- 1991年にユーゴ紛争が勃発し、旧ユーゴは解体。1999年のコソボ紛争の際にはNATOの空爆を受ける。2000年のミロシェビッチ体制崩壊後、民主化を促進。
- 2017年4月の大統領選挙で、最大与党セルビア進歩党(SNS)党首のブチッチ首相が圧勝し、5月に大統領に就任。2022年4月の大統領選挙でも圧勝、再選。2020年6月及び2022年4月の議会選挙でもブチッチ大統領率いるSNSが圧勝。制度上は、国政の実権は首相に属し、大統領は実権を有さないが、現時点では最大与党SNS党首の**ブチッチ大統領**が影響力を有している。
- EU加盟を目指し、国内改革を推進中。法の支配(司法の独立、報道の自由、汚職・組織犯罪対策等)における改革の必要性が指摘されている。



ブチッチ大統領

経済

経済危機からの回復傾向。近年はプラス成長。

- 農業国。GDPは近年はプラス成長が続く、コロナ危機の影響も比較的少ないとされる。
- EUが最大の貿易相手(全体の6割以上)。中国がアジア最大の貿易相手(貿易総額で第4位)。
- ガス、石油はロシアからの輸入に依存(需要の約7割)。電力は火力発電を中心に自給。



ブルナビッチ首相

外交安保

EU加盟が最優先課題。コソボとの関係正常化に向け対話を実施。EU・米・露・中を外交の4つの柱としている。

- EU加盟が最優先外交課題。2014年にEU加盟交渉を開始。
- コソボの独立を認めない方針を堅持。一方、関係正常化に向け、EU・米支援の下でセルビア・コソボ間対話を実施。
- 伝統的に親露的。近年は経済分野(特に、インフラ建設)を中心に中国の進出も見られる。
- 軍事的には中立路線を取り、NATOのPfPには参加しているが現時点でNATO加盟の意向はない。



セラコビッチ外相

二国間関係

2018年1月に安倍総理が日本の首相として初訪問。2019年8月に河野外務大臣が18年ぶりに日本の外相として訪問。関係強化の機運。

- 1997年外交関係樹立。ミラン・オブレノビッチ・セルビア王が明治天皇に親書を送った1882年が友好関係の起算年。

- 貿易額・主要貿易品目(18年:財務省貿易統計)

輸出(日本→セルビア) 24億円(自動車, 自動車部品, 金属加工機械, タイヤ等)

輸入(セルビア→日本) 380億円(紙巻きたばこ, 果実, 衣類, 化学製品等)

- 日系企業の直接投資: JTI, パナソニック, 矢崎総業, ハイレックス, 関西ペイント, 前川製作所, 東洋タイヤ

- 対セルビア経済協力(2017年まで): 672.42億円(円借款: 392.92億円, 無償資金協力: 228.12億円, 技術協力: 50.04億円)

- 主な要人往来

[往]15年武藤外務副大臣, 17年中根外務副大臣, 18年1月安倍内閣総理大臣, 18年10月山田外務大臣政務官, 19年4月菌浦総理大臣補佐官, 19年7月城内環境副大臣, 19年8月河野外務大臣

[来]11年タディッチ大統領, 11年ジュキッチ=デヤノビッチ議会議長, 12年ディンキッチ財務・経済相, 17年ステバノビッチ外務次官, 19年ブルナビッチ首相(即位の礼), 20年シャルチェビッチ教育科学大臣



日セルビア首脳会談



# ウクライナ情勢を巡るセルビアの対応

2022年4月  
外務省欧州局

## 1 背景

- セルビアは、ロシアとの文化・宗教・歴史等に由来する伝統的友好関係を基礎として、**コソボ問題**、軍事、エネルギー、貿易・投資分野で良好な協力関係。
- セルビアはエネルギー供給源の多角化に努めているが、石油、天然ガス等、**エネルギー分野でのロシア依存度が高い**。

## 2 セルビアの基本姿勢～ウクライナの主権と領土一体性を支持、対露制裁には参加せず～

- 国際法を尊重、**ウクライナを含むあらゆる国の主権・領土一体性への侵害は誤った行為**。
- 制裁は自国の政治経済的利益のためにのみ決定されるべきで、**対露制裁には参加しない**。
- 軍事的**中立性の維持を重視**、セルビア軍の諸外国との共同活動は全て中止。
- 引き続き**EU加盟を目指す**が、他者の求めで**敵対関係には関与しない**。

(2月25日、ブチッチ大統領の発言)

## 3 国際場裏でロシア非難決議へ賛成

- 3月2日、国連総会で**決議案「ウクライナに対する侵略」**に賛成票。
- 3月16日、「**欧州評議会**」からの**ロシアの追放**に賛成。
- 3月24日、国連総会で**決議案「ウクライナの人道状況」**に賛成票。

## 4 セルビア政府のロシア非難決議賛成への抗議デモの発生

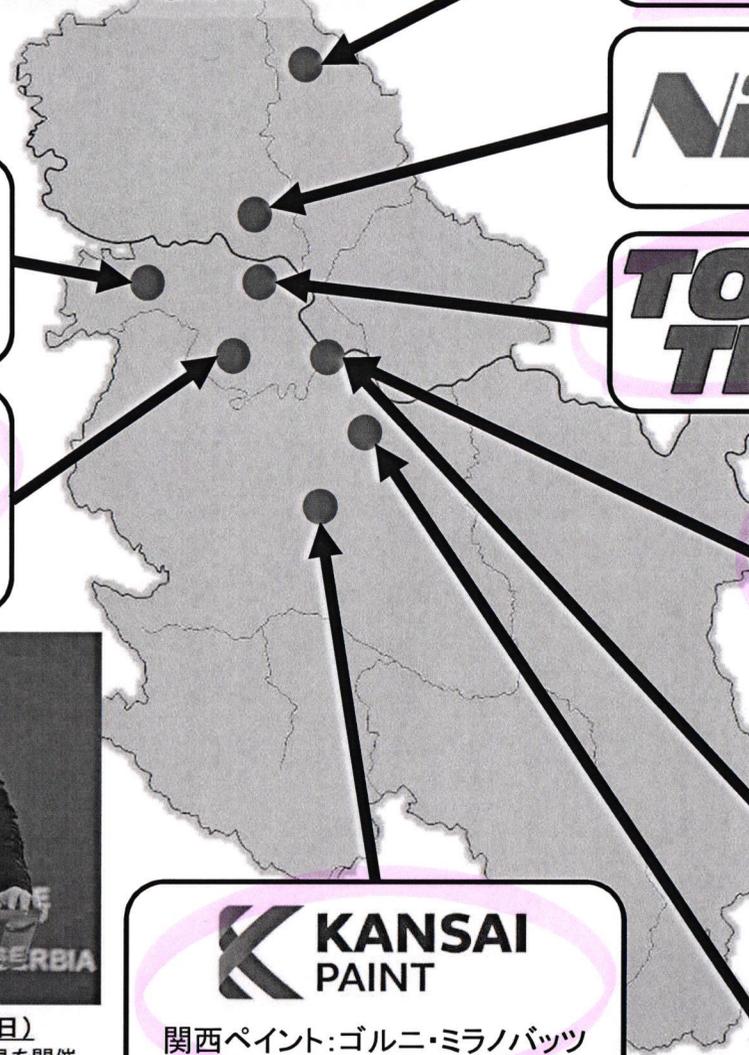
- 3月4日、NATOを非難し、プーチン大統領を賞賛する**親露派のデモが発生**。
- 3月6日、反戦、**ウクライナ支持集会**も開催された。

# セルビアに進出する主な日本企業



2021年6月  
中・東欧課

■18年1月の「西バルカン協カイニシア  
ティブ」提唱以降、日本企業の進出が更に  
活発化。赤字が18年1月以降の投資。



**JTI**  
JAPAN TOBACCO INTERNATIONAL

日本たばこ(JTI):センタ  
製品:紙タバコ、進出年:06年  
18年に生産ラインを拡大  
19年に新設備を増設

**Nidec**

日本電産:ノビ・サド  
製品:モーター  
進出年:23年(予定)

**TOYO TIRES**

東洋タイヤ:インジャ  
製品:自動車部品  
進出年:22年(予定)

伊藤忠商事:ベオグラード  
製品:廃棄物処理・食品、進出年:17年  
ピンチャゴミ処理場建設に参加

**ITOCHU**

**三菱商事**

三菱商事:ベオグラード  
製品:化学製品・食品等 進出年:65年

**MAYEKAWA**

前川製作所:スメデレボ  
製品:冷蔵・冷凍装置、進出年:19年

**HI-LEX**

ハイレックス:スレムスカ・ミロビツァ  
製品:自動車部品、進出年:17年

**YAZAKI**

矢崎総業:シャバツ  
製品:自動車部品、進出年:17年  
20年までに3,500人を雇用。



東洋タイヤの新規投資(19年7月30日)  
大の親日家であるプッチャ大統領が特別記者会見を開催し発表。投資額3.9億ユーロ、雇用者数523人を強調。

**KANSAI PAINT**

関西ペイント:ゴルニ・ミラノバツ  
製品:塗料、進出年:17年